

## 令和7年度第2回静岡県立中央図書館協議会議事録（要旨）

1 日 時 令和8年2月20日（金）午後1時30分から午後4時まで

2 会 場 静岡県立中央図書館 中集会室

3 出席者

（委員）		（図書館）	
委員	轟木堅一郎	館長	高橋 健二
委員	鈴木 千明	副館長兼総務課長	瀧 みやこ
委員	小久江暁子	総務班長	田中 理一
委員	鈴木 玲子	企画振興課長	阿部 幸子
委員	片瀬 愛理	企画班長	青木 修
委員	土居 由知	資料課長	木村 知美
委員	吉見光太郎	調査課長	鈴木 由美
		新図書館整備課長	小須賀拓也

4 内 容

- (1) 開会
- (2) 館長挨拶
- (3) 会長挨拶
- (4) 委員・職員紹介
- (5) 議事

ア 県立中央図書館の状況について

イ 令和7年度主要施策実績報告について

ウ 令和7年度各班等重点取組の評価について

エ 令和8年度の基本方針と主要施策について

オ デジタルアーカイブ基本方針について

## 議事発言要旨等

### ア 県立中央図書館の状況について

資料に基づき館長から報告

- ・令和7年度県立中央図書館の特色ある事業について
- ・令和7年度各種事業について
- ・令和7年度「静岡県立中央図書館アンケート」集計結果について

### イ 令和7年度主要施策実績報告について

資料に基づき館長から報告

### ウ 令和7年度各班等重点取組の評価について

( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"><li>● 実績的な防災訓練の実施及び危機管理マニュアルの随時改訂 (自己評価) A (外部評価) A×9</li><li>・自己評価、外部評価に基づきA評価とする。</li><li>※ 質疑応答無し</li></ul>
( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"><li>● 全国公共図書館研究集会 (サービス部門/総合・経営部門)の開催 (自己評価) B (外部評価) A×5、B×4</li><li>・参加者アンケートの結果が目標値 (「よかった」の割合が80%以上) に達しなかったということで自己評価をBとしているが、実際に参加された方の感想はいかがか。</li></ul>
( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料を机に広げて、じっくりとデータを確認することができたが、より理解を深めることができたが、あの大規模な大会であり、仕方がないとも思う。講演会の内容は興味深いものであったことからA評価で良い。</li></ul>
( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"><li>・大場先生のお話は興味深いものであった。書店にとってはマイナスなこともお話されていたが、それが正直なところなんだろうという風に思うと、我々がどのように見られているかわかったので、良い機会となった。</li></ul>

( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このような大規模な大会を開催したことは評価に値する。参加者からもA評価が妥当という意見があったので、A評価とする。</li> </ul>
( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内図書館情報提供サイト 新規Xの開始と運用 (自己評価) A (外部評価) A×9</li> <li>・自己評価、外部評価に基づきA評価とする。</li> <li>※ 質疑応答無し</li> </ul>
( 委 員 )  ( 図 書 館 )  ( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新刊児童書巡回貸出事業の試行による市町立図書館等の児童図書選書支援の実施 (自己評価) A (外部評価) A×9</li> <li>・巡回貸出を181冊、407冊の2パターン行っているが、今後はどのように実施していくのか。</li> <li>・協力館に対し、アンケートを取った結果、「全て見たい」「ある程度選書してもらいたい」という意見が半々に分かれており、引き続き検討が必要だと考える。</li> <li>・自己評価、外部評価に基づきA評価とする。</li> </ul>
( 委 員 )  ( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新館に向けた子どもコーナーの資料の充実 (りんごの棚の設置) (自己評価) A (外部評価) A×9</li> <li>・外部評価の意見として「りんごの棚にデイジー図書を置いたところ少し唐突で、手にされなかった」という意見があったが、図書館としての対応は。また、委員の方から追加の意見があればお願いしたい。</li> <li>・デイジー図書というものが、一般的には視覚障害者のためのものとして捉えられがちであるが、実際には様々な環境で使われるものである。</li> </ul>

<p>( 委 員 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の方にとっては、いわゆる朗読CDとの違いもわからず、なかなか手に取ることができない。やはり、再生機器もセットで提供していただきたい。</li> </ul>
<p>( 図 書 館 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書班に持ち帰って検討する。</li> </ul>
<p>( 委 員 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の方向性にある「学校向けの貸出用セット」についてはどうか。</li> </ul>
<p>( 図 書 館 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既定予算内の対応となるため「来年度以降」という記載になっているが、実現に向け予算の確保に努めたい。</li> </ul>
<p>( 委 員 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「りんごプロジェクト」という団体があり、「りんごの棚」に関するパンフレットがある。今日、どんぐりひろばが工事のため入れなかったこともあるが、そうしたパンフレットがカウンターにあれば良いと思った。</li> <li>・「りんごプロジェクト」では、リンゴの棚に関する出前授業的な取組を高校で行っている。高校生からは、もっと早くこうした取組を知りたかったという声があった。今、支援を必要としていない人であっても、将来的に必要となる場面があることも想定し、幅広い世代に周知していくことが大切だと考える。</li> </ul>
<p>( 図 書 館 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「りんごプロジェクト」についてはこちらでも情報収集していく。</li> </ul>
<p>( 委 員 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価、外部評価に基づきA評価とする。</li> </ul>
<p>( 委 員 )</p>	<p>● 雑誌用書庫内での適正な資料配置  (自己評価) A (外部評価) A×9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価、外部評価に基づきA評価とする。</li> </ul> <p>※ 質疑応答無し</p>

<p>( 委 員 )</p> <p>( 図 書 館 )</p> <p>( 委 員 )</p>	<p>● 県民、県内図書館職員、教職員等に向けたレファレンス・サービスとレファレンス研修の充実 (自己評価) A (外部評価) A×9</p> <p>・講演会で保育園のお母さん方と絵本についてお話する機会があったが、AIが子どもが好きそうな本を出してきて、それを図書館に借りに行くと言っていた。私達は、図書館で図書館員の方と話ながら本を選ぶ楽しさがあった。AIを活用するのも一つの方法であるが、図書館を使う楽しさをどのようにこのお母さんに伝えたら良いかと思いながらその日は帰った。図書館職員も忙しいとは思いますが、利用者との会話を通じて、本に対する興味が沸くような会話をしてもらえたらと感じた。</p> <p>・私達もレファレンスカウンターで資料の場所を聞かれたとき、それが閲覧室の資料であれば、図書館の本がどういう並び方になっていて、お探しの本はこういう風に探していくと見つかりますよ・・・等の御案内はできるだけするようにしている。今後も継続していく。</p> <p>・自己評価、外部評価に基づきA評価とする。</p>
<p>( 委 員 )</p> <p>( 図 書 館 )</p>	<p>● 県民に向けた健康医療情報の発信と提供による課題解決支援サービスの充実 (自己評価) A (外部評価) A×9</p> <p>・外部評価の意見として「病院内の図書室の貸し出しは参考になるか」とあるが、病院との連携についてどのように考えているか。</p> <p>・病院から情報を得られれば参考になると思う。どのような連携ができるかということも含めて検討する。</p>

<p>( 委 員 )</p> <p>( 委 員 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食と健康」の特集コーナーの資料が、身近な話題ということもあると思うが、かなり借りられていた。これからも良い展示を続けていただきたい。</li> <li>・自己評価、外部評価に基づきA評価とする。</li> </ul>
<p>( 委 員 )</p> <p>( 図 書 館 )</p> <p>( 委 員 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子書籍に関する情報と資料の収集 (自己評価) A (外部評価) A×7、B×2</li> <li>・地域資料に関する電子書籍はKindleからの出版が多いという印象を受けたが、割合的にはどうか。</li> <li>・静岡県関連の資料が全体としてどのくらい出ているのかがわからず、割合の把握は出来ていない。</li> <li>・外部評価でB評価が2名いるが、今後の方向性を踏まえA評価とする。</li> </ul>
<p>( 委 員 )</p> <p>( 図 書 館 )</p> <p>( 委 員 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県史編さん収集資料の公開及び情報発信 (自己評価) B (外部評価) A×5、B×4</li> <li>・「くずし字解読講座」のアクセス数が突出しているが、他県の図書館でも同様の取組があるか。</li> <li>・他県と比較しても、体系的に学ぶことができる内容となっていると思われる。くずし字について検索すると、当館のページがかなり上の方でヒットする。</li> <li>・外部評価については意見が分かれているが、今後の期待も込めてA評価とする。</li> </ul>

## エ 令和8年度の基本方針と主要施策について

資料に基づき館長から報告し、主に以下の内容について委員から意見を聴取

- ・市町立図書館との役割分担について
- ・資料の廃棄について
- ・現図書館における新たなサービスの提案
- ・図書館のこれからの在り方

( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"><li>・市町立図書館との役割分担は既に行われている。</li><li>・資料の廃棄については、現在購入する資料よりも多い資料を除籍している状態である。県立中央図書館が最後の砦としての役割を果たしてくれていることで本当に助かっている。</li><li>・今まで収集してきた資料を100年後の人達にも使ってもらえるよう残しておくのが図書館の努めだと思う。</li><li>・県立中央図書館の展示が素晴らしいという意見があった。可能であれば展示を丸ごと貸していただけると助かる。</li><li>・新図書館について、分散保管の方向性が示されているが、「今日は無いから明日また来てください」といっても、遠方からの利用者等、その日しか来館できないこともある。利用者の期待を裏切らないよう、やはり新図書館は全ての資料が保管できる規模で建築されれば良いと思う。</li></ul>
( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"><li>・県立中央図書館には静岡県書店大賞で毎年御協力をいただいている。静岡県が読書に力を入れていることは全国的にも知られており、引き続きお願いしたい。</li><li>・県教育委員会からの推薦図書等で連携をしている。お互いに有益な情報を共有したい。</li><li>・新図書館について、県立と市町立の役割分担が求められているが、一般の県民にとっては、8割以上がそうした意識を持たずに来館すると思われる。役割分担はあくまでこちら側の事情であり、東静岡に移転後は、なおさら一般の利用者にとって喜ばれる図書館にすることが理想ではないか。</li></ul>
( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども図書研究室講演会の瀧先生の講演をオンラインで視聴したが、説明がとても的確でわかりやすかった。小さいお子さんを持ったお母さんの場合、なかなか集合形式の講演会には参加できないことあるかと思うので、このようなオンライ</li></ul>

	ン方式は継続していただきたい。
( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども図書研究室講演会について、子ども図書研究室だよりに講演会の内容が丁寧にまとめられている。講演会を聴講し、更に研究室だよりを読むことで、更に理解を深めることができた。</li> </ul>
( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新図書館について、現図書館はアクセスの悪さが課題である。東静岡に移転することで、多くの県民が来館することになるので、色々な立場の人の目線に立った施設にしていきたい。</li> <li>・学生としては、勉強したり、休憩したり、のんびりする、おしゃべりをするなど、本を読む以外の空間があれば良いと思う。</li> </ul>
( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新館移転計画の今後の推移にもよるが、建物の見栄えよりも機能性にお金をかけていただきたい。ペDESTリアンデッキをやめるといった話もあったが、むしろそちらを残し、建物は長方形でよい。</li> <li>・先程の本を読む以外の空間の話に通じるが、軽食をとりながら本をよめるような環境もこれからは求められると思う。</li> <li>・県立中央図書館のイベントの質が素晴らしいということは会議に出るたびに感じるが、参加のしやすさ、情報への到達のしやすさという課題は残る。やはり、全世代に伝わりやすい情報伝達手段として、LINE の活用については再考していただきたい。</li> </ul>
( 委 員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「県立中央図書館が資料の最後の砦」という意見について、大学の図書館も蔵書数を抑えるよう（廃棄をすすめるよう）言われている。現在、学術雑誌も電子ジャーナルになりつつあるが、契約が切れると過去のものを見ることができなくなる。貴重な資料に関してアーカイブを取っていくことは大事であるが、次の100年ということを考えると、デジタルを過信することは危険である。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・「展示を丸ごと貸してほしい」という意見について、どんぐりひろばの季節毎の展示の評判が良いので、あのような展示のノウハウを学べる講座的なものがあれば、図書館に限らず、保育園等でも参加したいのではないかと。</li></ul>
--	--

## オ デジタルアーカイブ基本計画について

資料に基づき館長から報告